

走行クレーンの暴走

Ican Report No7号,12号にも触れておりますが、温暖化による異常気象の突風強風で走行クレーンが押され暴走する事故が下記の事例が示すように多発しています。これらは氷山の一角です。死亡事故を含む重大事故から走行ボギー他の損傷事故まで沢山発生しています。

クレーンが大型化とともに強風に押される力が強くなり、従来のクレーン走行暴走防止システムでは動き出しているクレーンを停止することが困難です。

原因は

- 1) 電動機軸のブレーキ（モーターブレーキ）の力不足
- 2) 電動機軸のブレーキのメンテナンスが難しい、見えない、調整ボルトの数が多すぎる（クレーン1台当たり150-200本あり適切な間隙調整が極めて困難）
- 3) レールクランプが設置されているが、これはクレーンが静止状態でのみ止める力があるがクレーンが動いている状態では有効ではない
- 4) 既設のクレーンにおいては昨今の異常暴風に対応した対策が施工されていない

どのような対策が良いか

当社のRunaway Stop seriesのレールブレーキを走行ボギーに取り付けて、走行用電動機軸ブレーキのIB30型のNマウント型またはMidマウント型を併せて採用することをお奨めします。

本対策はホイールブレーキも合わせ既設クレーンにも適用できます。

2003年鹿島港で 連続アンロダーの暴走事故

2008年ヤンゴン港 コンテナクレーンが暴走し海中へ倒壊事故

2003年スラバヤ港 コンテナクレーンの暴走事故 その後も解決していない

2008年ジャクソンビル港 コンテナクレーンの暴走3台倒壊事故

発生日	場所	概要	全国の主なガントリー クレーン暴走事故
2006年11月	新潟東港 (新潟県)	強風で140メートル走り倒壊。3人けが	
08年 2月	小名浜港 (福島県)	強風でレール止めに衝突。けが人なし	
10年 1月	御前崎港 (静岡県)	強風でコンテナ船に衝突。けが人なし	
11年 9月	清水港 (静岡県)	台風で3基が衝突。けが人なし	
12年12月	苫小牧港 (北海道)	強風で隣接基と衝突。けが人なし	

神戸新聞平成28年3月24日附
記事より



Runaway Stop